

担当教員 藤本透子	Instructor Name FUJIMOTO Toko			
開講期 後期	Class Starts at 2nd Semester	開講期間 半期	Period One Semester	対象年次 / Suggested Grade 3,4,5
科目コード / Subject Code 20DRSa08		単位 / Credit 2		
科目名称： 北・中央アジア文化研究演習 I		Subject: Seminar I (Northern and Central Asian Studies)		
<p>授業概要：</p> <p>中央アジアの社会と宗教 / Society and Religion in Central Asia</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義と演習 ・中央アジアでは、社会主義に基づく近代化を経験した後、独立以降の政治経済状況の変化の下で地域社会の再編が進みイスラームの位置づけも変化してきた。日常生活における宗教実践に着目しながら、中央アジアの社会・文化動態に関する人類学的理解を深める。 				
<p>教育目標・目的：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央アジアの文化・社会に関する基礎的な知識を身につけ説明することができる。 ・イスラーム地域およびポスト社会主義地域における人類学研究の手法を理解し、民族誌をもとに議論することができる。 ・中央アジアの事例から、社会と宗教の関係について説明し自分の意見を述べるすることができる。 				
<p>授業計画：</p> <p>月曜日 13:30~15:30</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義1「中央アジアにおける人類学研究の概観」 2. 講義2「中央アジアにおける地域社会とイスラーム」 3~4. 購読1・2「イスラームとジェンダー」 5~6. 購読3・4「人生儀礼と祝祭の変容」 7~8. 購読5・6「聖者崇敬の現在」 9~10. 購読7・8「伝統医療の展開」 11~12. 購読9・10「国境を越える移動とイスラーム」 13~14. 購読11・12「改宗と社会」 15. 最終討論 <ul style="list-style-type: none"> ・購読では、担当する文献を精読した上で要旨をまとめて発表すること。 ・発表者以外も文献を事前に読み、議論に参加すること。 ・学期末には最終討論をふまえてレポートを提出。 				
<p>成績評価：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購読における活動 50% ・レポート 50% 				

実施場所：

国立民族学博物館 演習室

使用言語：

日本語

教科書・参考書：

- ・Hann, C. and “Civil Religion” Group 2006 *The Postsocialist Religious Questions: Faith and Power in Central Asia and East-Central Europe*. Berlin: LIT.
- ・Rasanayagam, J. et al. 2006 Post-Soviet Islam: An Anthropological Perspective. *Central Asian Survey* 25(3).
- ・『現代アジアの宗教—社会主義を経た地域を読む』（藤本透子編、2015年、春風社）他

備考：

地域文化学専攻・比較文化学専攻の学生のみ履修可。